小佐々中学校だより 校訓　英知　信愛　活力

佐世保市立小佐々中学校第１３号　令和８年８月９日発行　　発行責任者　校長　中里　紀和子

本日は県民祈りの日、81年目の長崎原爆の日を迎えました。本校も1学期から平和学習に取り組み、子どもたちも平和の尊さについて学んできました。本日は平和集会を行い、標語と感想の発表と合わせて、小佐々中学校の平和宣言文を発表しました。夏休みの大変暑い中、実行委員さんや発表者が練習を重ねてきました。平和集会で発表した標語と感想を紹介します。（敬称は省略します。）

〇平和への思いを標語に込めて（平和学習Ⅰ　朗読劇「おりづるの旅」を学習して）

指先に　平和の形　鶴折る日　　戦争は　癒えない傷を　残すだけ　　3年

平和への　長い道のり　歩いてく　2年　　その日の夜　いきている事　ほこらしい　2年

日常の　平和の尊さ　未来へと　　1年　　平和よ届け　世界の果てまで　　1年

〇映画『アンゼラスの鐘』を視聴して（平和学習Ⅱ）

3 年

私は以前よりももっと原爆の恐ろしさについて知りました。私が住んでいる長崎が81年前に原爆が落とされ、街には何も残っていないということがどんなに悲しいか、苦しいのか当時のアメリカの人たちにも知ってほしかったです。戦争はもう二度としてほしくないです。そのためには戦争のことをもっとたくさんの人に伝えていき同じことがないように次のもっと先の世代の人にも受け継いでいかないと、と思いました。いつか全世界が平和な世の中になれることを願っています。

3年

先生が戦争という怪物が人を狂わせているということを聞いて、この時代の子どもたちはかわいそうだと思いました。今の日本は平和だからいいけど、世界では戦争があってその怪物たちが世界の人、子どもたちを苦しめていると思うと悲しいことだと思います。だから日本がどんなときでも平和であってほしい、そして日本という国が平和の本当の意味を伝えるべきだと思いました。

2年

原子爆弾が落とされる前はきれいな長崎だったのに爆弾が落とされてからは焼け野原だったし、しかもあの1個の爆弾で全体が緑できれいだった長崎が、黒くなったり、建物が火事になったり、人が道のところに倒れていて、落とされた爆弾は全部をダメにすることが分かりました。その日に助かっても数日したら髪の毛がなくなったり、急に体調が悪くなったりして、落とされた日だけでは助かったって言えないことがわかりました。そして眠れることやご飯をみんなで食べられることは毎日が当たり前ではないことを実感したから、今後は生きているだけで幸せだから一日一日を大切にしながら周りの人のことを考えながら過ごしていきたいです。

2年

この DVD で原子爆弾がどれほど恐ろしいものなのかが改めて分かりました。DVD に登場した先生は家族よりも患者を優先し、励まし、とても勇気のある方だなと思いました。原爆でひどい目にあった後、さらに台風まであったと初めて知りました。最初の方は先生が何でもしてあげていたけど、後の方では自分でやらせて「あきらめるな」とみんなに声をかけていてすごいなと思いました。はじめは平気だった人まで亡くなっていて怖いと思いました。

1年

原爆が落ちた時に自分が後遺症で白血病の影響で歯ぐきから血が出ていたのに、自分のことよりけがをしている人や火傷をしている人を優先していて、すごいと思いました。そして原爆が落とされ、風の勢いで窓ガラスや家具が吹き飛んでいて、原爆の恐ろしさを知りました。こわれたがれきのせいで、つぶされていたり、まる焦げになったりして、見ていてとてもかわいそうでした。戦争をしない平和な世界になってほしいと思います。

1年

DVD を見て、改めて戦争がどれだけ恐ろしいかを学びました。長崎県に落とされた原爆はたくさんの人の命を簡単に奪ってしまうこともわかりました。原爆を落とされたことによって放射線の後遺症で苦しんでいる人、やけどで苦しんでいる人がたくさんいて、希望を捨てずに治療をしていた先生がすごいと思いました。戦争を二度と繰り返さないように友達と仲良くするなど平和を守っていきたいです。

8月31日（月） 2学期始業日 ※弁当持参　 8:05 出欠確認　8:20 2学期始業式

2～4校時 学級活動（学年集会、夏休み振り返り、学級組織等）　 5校時 小佐々タイム（帰りの会を含む）

14:10下校（バス楠泊方面14:48 小佐々方面14:23）　 部活動中止

9月1日（火）実力テスト（1～3校時）　 9月2日（水）実力テスト（1・2校時）